

## Mi Vida en México

メキシコに来て早くも2ヶ月が経とうとしています。まだまだ慣れないことも多いですが、ホストマザーやクラスメイトとの会話、買い物など、スムーズにできることが少しずつ増えてきているなど実感している毎日です。今月も非常に多くの経験ができ、レポートに書きたいことが沢山あるのですが、今回はその中から3つに絞ってお伝えしようと思います。

### これがメキシコの生活。 - 急な豪雨はメキシコあるある -

メキシコに来て、新鮮に感じたことが沢山ありますが、そのうちの一つが気候です。日に当たらない時間帯は少し寒いですが、12月に入った今でも、日中は20度を超え、日に当たると暑く感じます。しかし、乾燥しているため日本のような蒸し暑さはなく、非常に過ごしやすい気候といった印象です。

雨はこの2ヶ月でまだ数えるほどしか降っていませんが、日本で言う「ゲリラ豪雨」が多く、天気の変化を予測できません。

先日、帰り道にそのゲリラ豪雨に出くわしました。傘を持っていなかったため、滝のような雨に打たれながら帰宅し、すぐに家のシャワーを浴びようと思ったのですが、なんと豪雨の影響でお湯が出ない。仕方なく、寒さに凍えながら水のシャワーを浴び、その後、宿題をしようと教科書を開いた瞬間、今度は停電に遭いました。ホストマザーによると、水のシャワーも停電もよくあるこ

とらしく、「そのうち元に戻るさ」と懐中電灯を照らして、普段と変わらない様子でいました。

また、ホストマザー曰く、メキシコ人のほとんどが傘を持たず、天気予報すら見ないとのこと。日本のように雨が一日中降ることがないため、メキシコ人にとって、天気はそこまで重要ではないようです。

メキシコでの生活に慣れてきた矢先、突然の水シャワーと停電。まだまだメキシコの知らないことが沢山あるなと思い知らされました。

## 初 Fiesta(フイエスタ)

Fiesta は日本語でパーティーを意味する単語です。授業でもよく、Fiesta に関する話が出てきていました。広島で私にスペイン語を教えてくださっていた中島エバさんも「Fiesta は、日本にはない雰囲気味わえて、きっと楽しいよ」とおっしゃっていたので、楽しみにしていました。

その Fiesta が 11 月に我が家で行われました。ホストマザーの姪っ子さんの 20 歳の誕生日会です。家がとても広いため、イベントがあるたびに会場として使われ、多くの人が集まるそうです。

お菓子やお酒などが準備され、多くの人が集まりました。時間が進むにつれて、盛り上がりは増し、大きなスピーカーから流れる大音量の音楽と共に、午

前2時までひたすら踊り続けました。

日本だと、主役の家族や友達のみで集まりますが、メキシコでは、主役の友達の友達も来るようで、誰が誰だか分からない状態でした。始まる前は、知らない人がいたらどんな雰囲気になるのだろうと、思いましたが、みんなと一緒に踊っていたら、そのようなことも忘れ、Fiesta は終始盛り上がりました。

Fiesta では「一緒に話して踊ったら友達」というような雰囲気があり、メキシコ人にフレンドリーな人が多い理由が分かった気がした一日でした。



Fiesta にて。多くの人で賑わいました。



Fiesta 翌日。親戚が集まった誕生日会に呼んでいただきました。

## メキシコから観るサッカーW杯

今月の大イベントと言えば、カタールで行われたサッカーW杯ではないでしょうか。大のサッカーファンである私は、日本代表の試合だけでなく、W杯期間中のメキシコがどのように盛り上がるのかにも注目していました。

死者の日が終わって、街が少し落ち着いたかと思えば、すぐにW杯一色に

なりました。テレビでは W 杯関連のニュースや CM が多く、街の至る所でサッカーのユニフォームが売られていました。日本代表のユニフォームが売られているのもよく目にしました。メキシコシティの中心部では、“FIFA Fan Festival 2022”が開催され、毎日のように色んな試合のパブリックビューイングが行われたようです。私はこのパブリックビューイングには行けませんでした。が、映画館で試合を見ることができるという情報を聞き、メキシコ対アルゼンチンの試合を観戦しました。メキシコ代表の最も注目されていた試合とあって映画館は満席。惜しくも負けてしまいましたが、映画館でサッカー観戦するという貴重な体験ができました。

その後のメキシコ代表の 3 戦目サウジアラビア戦は、バー（bar）で観戦しました。メキシコ時間の水曜日 13 時開始の試合。登校する時、いつもは満員であるメトロバス（Metrobús）には乗る人が少なく、いつもと違う雰囲気朝を迎えました。授業を終え、すぐにバーに向かうと、平日の昼間にもかかわらず、多くの人ユニフォームを着て、1 リットルのビールジョッキを手に、テレビに釘付けでした。試合は、大逆転での決勝トーナメント進出にあと一歩及びませんでした。が、白熱した展開に大盛り上がりでした。

メキシコのサッカーの関心はやはり高く、メキシコ国民の熱い応援が印象的でした。試合がある日にユニフォームを着た人が街中に溢れる光景は、カーブ

の試合がある日の広島の街のようでした。初めて日本国外から見た W 杯は、世界中を熱狂させるスポーツの力の偉大さを改めて感じる大会となりました。

次の W 杯は、アメリカ・カナダ・メキシコの 3 か国同時開催。メキシコのスタジアムで W 杯を観戦することを目標に、スペイン語の勉強により一層励んでいこうと思います。

そして、4 年後は日本代表もメキシコ代表もベスト 16 の壁を乗り越える大会となってほしいです。



バーで観戦する人たち



試合前の映画館

12月の授業が終わり、約1か月間の休暇期間に入ります。普段できない体験や行けない場所に行ったりしてみたいと思っています。また、クリスマスや年末年始などのイベントもあるので、日本との違いに注目していきながら、過ごしていきたいです。